

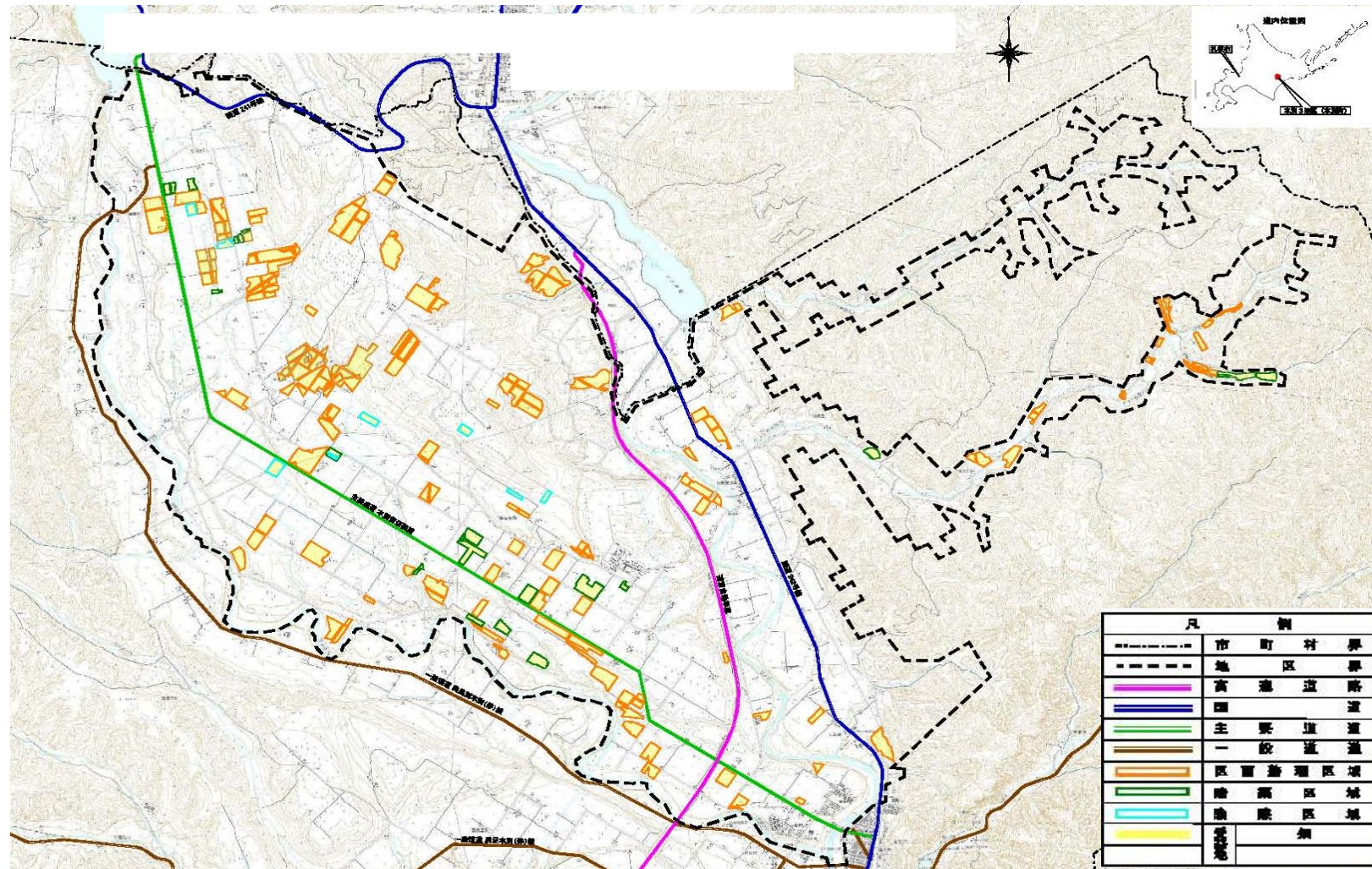
地区別事業概要

事業名	水利施設等保全高度化事業		地区名	本別3
関係市町村	北海道中川郡本別町		事業主体	北海道
事業目的	本地区は、北海道中川郡本別町の北西部に位置し、小麦、豆類、てんさい、ばれいしょの畑作4品の作付を中心とした営農が展開されている。 本地区では、平成23年度より道営畑地帯総合整備事業が実施されているが、未だに起伏のあるほ場や排水不良、石礫のあるほ場が点在し、農作業の効率化に影響を及ぼしている。 このため、本事業により区画整理、暗渠排水、除礫を総合的に整備することで、生産性が高く高機能の優良農地を確保を確保し、農業の生産性の向上を図り、本地域の農業競争力の強化を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	585ha	40戸	2,036百万円	令和3～10年度
	主要工事	区画整理 515ha 暗渠排水 55ha 除礫 16ha		
	関連事業	—		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	2,939百万円	1,690百万円	1.73	総費用総便益方式
概要図	別添のとおり			

出典：本別3地区土地改良事業計画概要書（北海道十勝総合振興局調整課作成）

概 要 図

水利施設等保全高度化事業 本別3地区



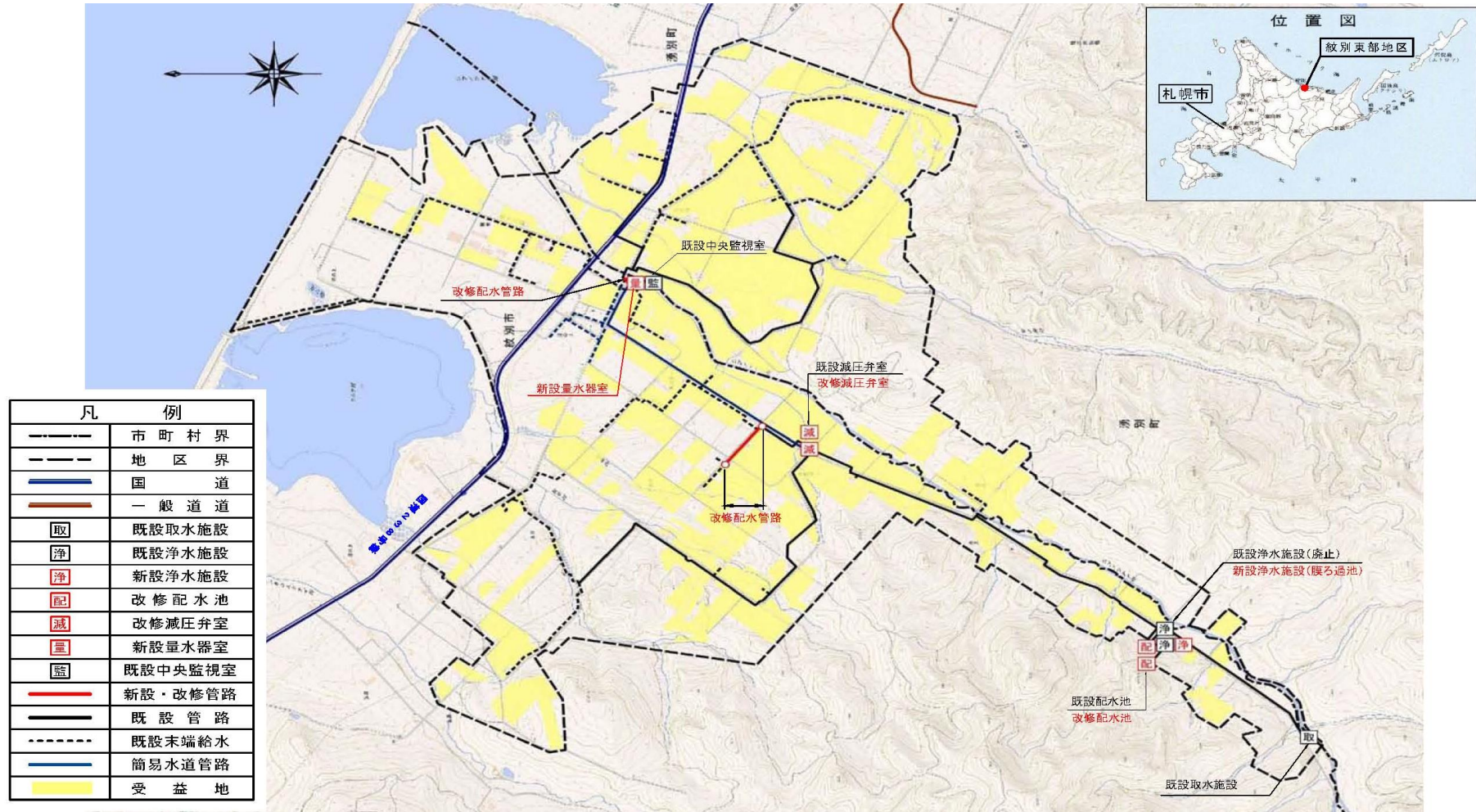
地区別事業概要

事業名	水利施設等保全高度化事業		地区名	紋別東部 ^{もんべつとうぶ}
関係市町村	北海道紋別市、紋別郡湧別町 ^{もんべつし もんべつぐんゆうべつちよう}		事業主体	北海道
事業目的	本地区は、北海道紋別市及び北海道紋別郡湧別町に位置し、豊富な土地基盤を背景とした酪農と肉用牛経営を中心とした営農が展開されている。 本地区の営農用水施設は、昭和 56 年度より道営開拓地整備事業、昭和 63 年度より道営草地整備事業、平成 8 年度より簡易水道事業によって整備されているが、浄水施設の能力不足により必要な営農用水が供給されていないほか、家畜頭数の増加による水量不足が発生しており、良質な営農用水の確保に苦慮している。 このため、本事業により営農用水施設を総合的に整備することで営農用水の安定供給を図り、本地域の農業競争力の強化を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	1,326ha	17 戸	1,390 百万円	令和 3 ～ 8 年度
	主要工事	浄水施設 1 式、配水施設 1 式、管理施設 1 式 配水管路 0.2km		
	関連事業	—		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	7,324 百万円	2,724 百万円	2.68	総費用総便益方式
概要図	別添のとおり			

出典：紋別東部地区土地改良事業計画概要書（北海道オホーツク総合振興局調整課作成）

概要図

水利施設等保全高度化事業 紋別東部地区

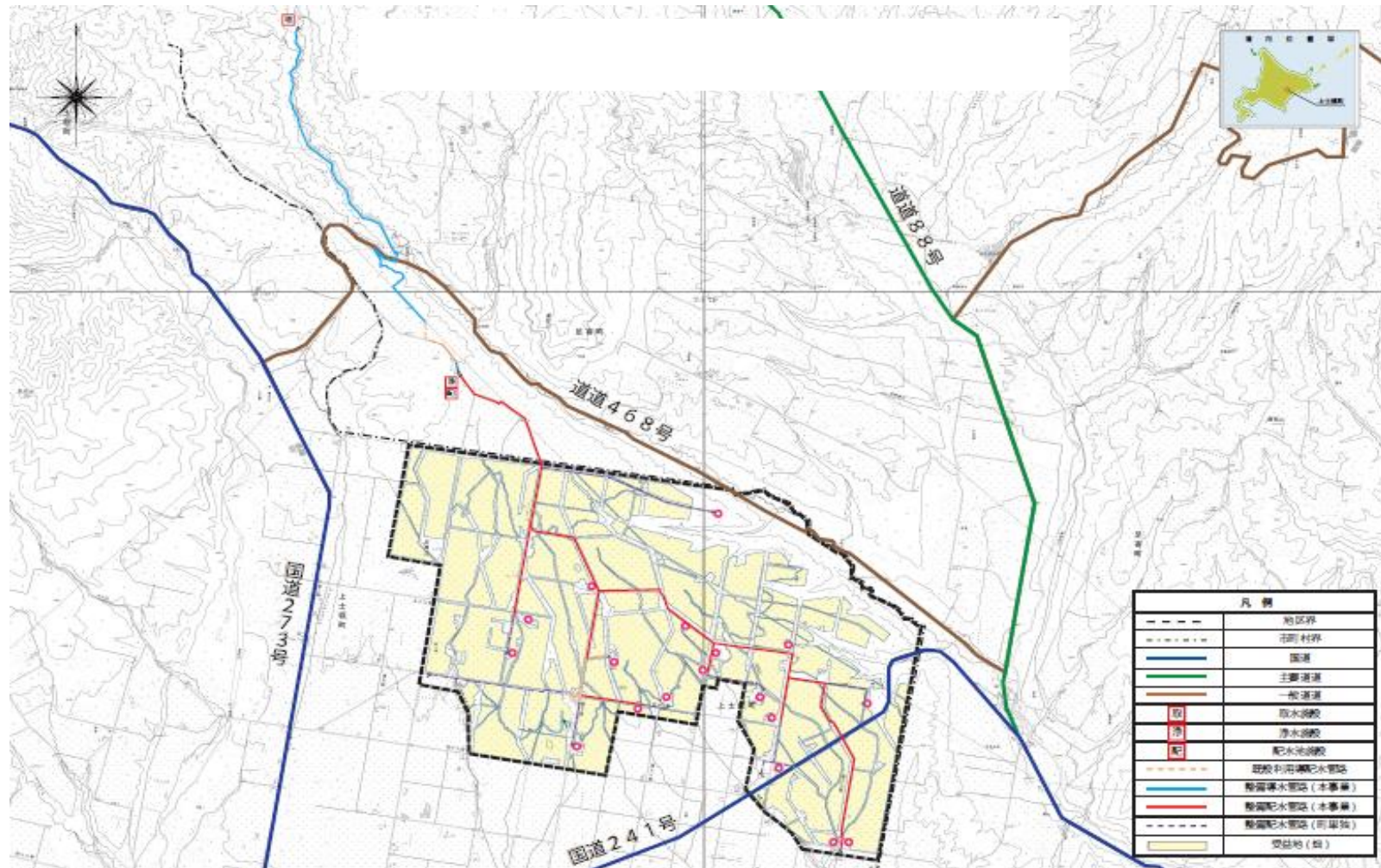


地区別事業概要

事業名	水利施設等保全高度化事業		地区名	居 おり 辺
関係市町村	北海道 かとうぐんかみしほろちよう 河東郡上士幌町		事業主体	北海道
事業目的	本地区は、北海道上士幌町の北東部に位置し、酪農専業経営農家を中心とし、畜産経営・畑作経営が混在する営農が展開されている。 本地区の営農用水施設は、昭和 49 年度の道営開拓地農道等改修事業等により整備されているが、昭和 54 年度の供用開始より 40 年以上が経過し、施設の老朽化による漏水や、近年の戸当たり家畜飼養頭数の増加による水量不足が発生し、良質な営農用水の確保に苦慮している。 このため、本事業により営農用水施設を総合的に整備することで営農用水の安定供給を図り、本地域の農業競争力の強化を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	854ha	17 戸	2, 220 百万円	令和 3 ～11 年度
	主要工事	取水施設 1 式、浄水施設 1 式、管理施設 1 式 導水管路 6 km、配水管路 15km		
	関連事業	—		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	2, 994 百万円	2, 280 百万円	1. 31	総費用総便益方式
概要図	別添のとおり			

出典：居辺地区土地改良事業計画概要書（北海道十勝総合振興局調整課作成）

水利施設等保全高度化事業 居辺地区



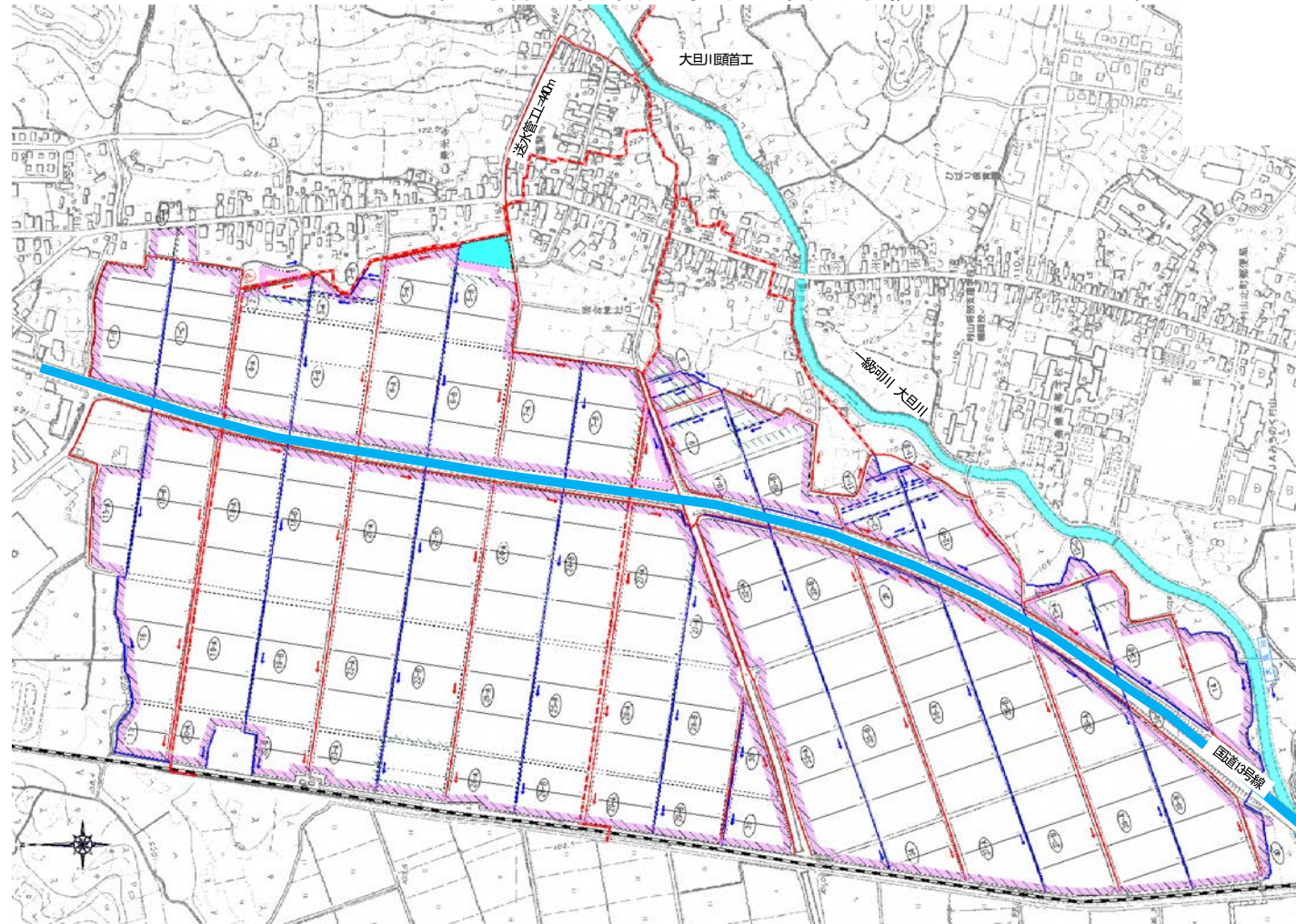
地区別事業概要

事業名	水利施設等保全高度化事業		地区名	おおくら 大倉
関係市町村	むらやま 山形県村山市		事業主体	山形県
事業目的	本地区は山形県の中央部山形盆地に位置し、一級河川大旦川の右岸に展開する水田地帯である。 地区内の用水は一級河川大旦川に依存し、主要な取水施設等は県営農村地域環境保全整備事業(大倉地区)及び県営ほ場整備事業により整備改修が実施されている。また、地区内用排水路については、ほ場整備事業により二次製品で装工されているが、供用から45年以上が経過しており漏水や破損による機能低下が著しい状況である。 このため、用水の安定確保が困難となり、用水を適時的確に管理できない状況のため、用水路のパイプライン化を行うとともに、排水路はコンクリート柵渠を排水フリームで改修することで、用排水の安定供給及び水管理の省力化を図る。また、地区のほ場は20a区画で整備されているものの、大型機械の導入及び担い手への農地集積を図るうえで阻害要因となっていることから、畦畔撤去による区画拡大の整備を計画する。 以上により担い手への農地集積を促進するとともに、維持管理の軽減、農業経営の安定及び効率化を図り、農業競争力強化を目指すものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	96ha	185 戸	1,997 百万円	令和3～10年度
	主要工事	用水路 12 km 排水路 9 km 区画整理 93 ha		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	2,559 百万円	2,091 百万円	1.22	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：大倉地区土地改良事業計画概要書（山形県農林水産部農村計画課作成）

概 要 図

水利施設等保全高度化事業（農地集積促進型） 大倉地区



凡 例	
記 号	事 項
 	受 益 地
 	施工水路(用水路)
 	施工水路(排水路)
 	施工水路(地下排水路)
 	地下かんがい工
P	揚 水 機 場
 	国 道
 	主 要 地 方 道
 	一 般 県 道
 	河 川
 	既 設 用 水 路
 	市 町 村 界